

本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>>第2回子どもの読書活動スキルアップ講座(子どもと読書活動をつなぐ・連続講座)を開催しました。

平成26年7月17日(木)、第2回スキルアップ講座を開催しました。「幼稚園の図書室活動―読み聞かせで育む親子の絆―」と題して、鷹野学園あおば幼稚園園長の鷹野秀樹氏にご講演いただき、33名の参加がありました。

甲斐市のあおば幼稚園では図書専門の先生を中心に、図書室活動が活発に行われています。毎朝10分間の絵本の読み聞かせをはじめ、論語やことわざ、古典文学などの暗唱にも取り組んでいます。読み聞かせを続けることにより、相手の話を聴く態度が自然に身に付いてくるのお話がありました。

また、週1回、親子のコミュニケーションを図ることを目的に、家庭へ本を貸出しています。本を返却する際には、「絵本親子感想ノート」に、コメントや絵などを記入してもらい、幼稚園と各家庭をつないでいます。3年間の成長の様子が記録に残るだけでなく、本を中心としたやり取りに家庭の様子を見ることができ、家庭と幼稚園とのコミュニケーションツールにもなっているそうです。本を通して言葉を増やすさまざまな活動によって、心も人生も豊かに育ってほしいという思いが込められているとお話いただきました。

参加者からは、「絵本は子どもたちの可能性を広げる最良の道具だと思った。」「園へ戻り、子どもたちと一緒にたくさんの本との出会いを大切にしたい。」等の感想が寄せられました。

>>4月～8月の講師派遣状況

4月～8月に講師依頼を受け対応した中から、主な研修会の概要を紹介します。

・4月18日(金) 甲府市立新紺屋小学校読み聞かせボランティア研修会

テーマ 「読み聞かせの基本、読み聞かせに適した本の選択について」

朝の読書の時間に活動している読み聞かせボランティア(保護者)の新人研修の一環として開催された研修会でした。読み聞かせの基本として子どもから見えやすい本の持ち方、声の出し方、ページをめくるタイミングについて実演を交え説明しました。次に、学校での活動実態を確認した上で読み聞かせに適した絵本の選び方、プログラムの例について紹介しました。

・6月24日(火) 笛吹市学校図書館教育研究会学習会

テーマ 「読書指導の理論と実践」

笛吹市教育会館で開催された笛吹市内の小中学校の図書館主任及び、司書の皆さんを対象とした学習会でした。ブックトークの理論の説明、学校での活用方法の例示、実演(小学校中学年対象、テーマ「どんな家に住みたい?」)と演習を行いました。演習では、グループごとに本の内容を表すキーワードを考え、そのキーワードを元に1つのテーマを決定し発表していただきました。終了後、「おもしろかった」「本が読みたくなった」との感想や、「中学生対象のシナリオがあるか?」といった質問が寄せられました。

・7月23日（水）中央市玉穂生涯学習館おはなしボランティア養成講座

テーマ「おはなし会での演じ方について」

おはなし会を実際に行う上で知っておきたい年齢の分け方、プログラムの作り方、てぶくろ人形などを使った導入の方法、手遊び・わらべうた、紙芝居の実践方法、絵本の持ち方などについて、実演を交え説明しました。手遊び・わらべうたは親子一緒に楽しく遊べるという観点でハンカチや布、お手玉など小道具を使ったものから、顔遊びまで幅広く選びました。参加者は一緒に歌ったり、手を動かし積極的に学んでいました。

・7月28日（月）山梨県総合教育センター平成26年度学校図書館教育研修会

テーマ「ブックトーク」

山梨県内の中学校の教員、司書教諭、司書を対象とした研修会でした。ブックトークの理論の説明、実演（中学3年対象、テーマ「環境問題について考えてみよう！」）、演習を行いました。演習では2人1組となり、テーマに加え紹介する内容や見せたいページを発表しました。「実践していきたいと意欲をかき立てられた」との感想が寄せられました。

>>児童青少年サービス講座中級編 第1回を実施しました。

平成26年7月31日（木）、「児童青少年サービス講座中級編」の第1回を開催しました。この講座は、子どもの読書活動推進にあたり、専門的助言や技術的な指導を行う人材を育成するための5回連続講座となっていますが、講座の開始に先立ち、講義の前に開講式を行いました。

第1回は「児童サービス経営—理論と実践—」と題して、獨協大学教授の井上靖代氏にご講義いただきました。“誰のために”“何のために”“何をしているのか”を説明できるようにしておくこと、そのためには、児童・YAサービスについて明確にしておく、日常業務を見直し、明確な目的、目標を設定する必要があるなど、熱心にお話くださいました。その後、グループに分かれ、各図書館・図書室から持ち寄った児童サービスに関する運営方針、資料構築方針等の項目を検証しました。その話し合いの結果を発表し、講師からコメントをいただきました。最後の質疑応答では、マンガのこと、「学校図書館法」改正のことなどが話題に上がりました。

受講者からは、「日常業務を見直すという点でとても刺激を受けた」「館に戻り、話し合いをしたい」「プロ意識を勉強させていただいた」等の感想が寄せられ、本講座がふだんの業務を見直すきっかけとなったようです。

>>七夕にちなんだ笹の飾りつけをしました。

7月1日（火）～6日（日）まで、1階児童カウンター前にて七夕の飾りつけを行いました。

期間中は多くの親子連れが、短冊に願いごとを書き、笹の葉に吊るす姿が見られました。思い思いの願いごとを書いた、色とりどりの短冊で笹が彩られました。

あわせて児童資料コーナーでは、7月7日にちなんだ、七夕の由来がわかる絵本や、星座の本などのミニ展示も行い、たくさんの方で賑わいました。

